

生駒市高齢者保健福祉計画 第8期介護保険事業計画

パブリックコメント案からの変更箇所一覧

No.	意見者	頁	意見	意見への対応
1	議会	1	生駒市の高齢化率の伸び率は、全国で指折りと聞いているが、それについての記述はないのか。	全国、奈良県の高齢化率と、2025年における75歳以上の人口伸び率の全国、奈良県比較を追記しました。
2	議会	6	基本チェックリストの対象年齢を記載しておくべきではないか。	対象年齢を記載しました。
3	議会	4 4	介護給付適正化事業の主要5事業は、どの事業を指しているのか。	介護給付適正化事業の主要5事業がなにかかわるように、「要介護認定の適正化」、「ケアプランの点検」、「住宅改修等の点検」、「医療情報との突合・縦覧点検」、「介護給付費通知」の5事業を行うことを追記しました。
4	パブリックコメント	5 1 5 2 5 3 5 4	今後3年間の計画にコロナ感染症対策がまったく入っていないのは、現実を無視している。パブリックコメント募集の前にコロナ対策を入れた新しい計画書を提示すべきではないか。改訂版を出して、パブリックコメントを募集するのか。	P51 地域包括ケアシステムの推進の現状と課題に「近年の頻発する災害発生や令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の大流行を踏まえ、高齢者を守る体制づくりのさらなる充実が喫緊の課題となっています。」を追記しました。 P52(3) 緊急時の体制及び地域の見守り体制の強化に「防災や感染症対策について、医療機関や介護事業所と連携し、周知、啓発、研修等を実施するとともに、実際に災害や感染症等が発生した場合の支援・応援体制づくりを進めます。」を追記しました。 P53 3 在宅医療・介護連携の促進に「国や県と連携して災害や感染症等の発生時に備えて医療機関や介護事業所等における必要物資の備蓄・調達体制づくりを進めるとともに、高齢者、医療・介護施設従事者等への迅速な検査や予防接種体制づくりを進めます。」を追記しました。
5	議会	5 4	「終末期」という表現があるが、「人生の最終段階」という表現に変わっているのではないか。	「終末期」の表記を「人生の最終段階」に変更しました。
6	パブリックコメント	5 4	生駒市でやまと西和ネットにどのように取り組んでいるか。	主な事業欄に「「やまと西和ネット」の取り組みへの協力・支援」を追加しました。
7	パブリックコメント	5 5	認知症の人が生き生きと生活するための支援は、高度な倫理観や知識、技能が求められるが、現実には認知症高齢者への虐待がある。厚労省 H28 調査によると、その原因の多くが職員の「教育・知識」、「感情コントロール」となっているため、研修を充実してほしい。	認知症高齢者への対応については、ご意見のとおりですが、専門的なケアを行う専門職向けの研修を毎年実施しています。 令和3年度からは資格を持たない介護職員に認知症介護基礎研修が義務付けられる予定であり、周知徹底を進めることをP55に追記しました。
8	議会	6 7	P43 で認知症サポーター養成講座を働く世代の人達に受講してもらえようように事業を検討していく必要があると記載しているが、P67 からの認知症施策の推進の中に具体的に記載されていない。	P67 に働く世代の認知症サポーター養成講座の受講が少ないため、働く世代に対して、認知症への関心を持ってもらえるように啓発の方法や場所を工夫し、受講者を増やしていくことを追記しました。